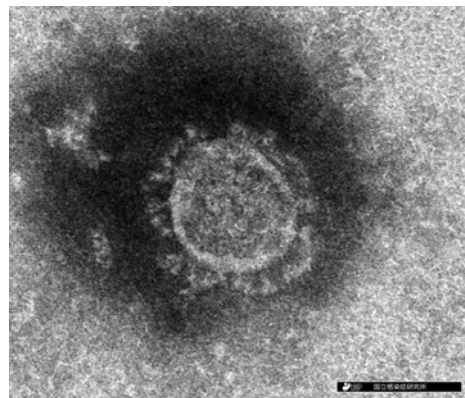


新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) に対する 微酸性電解水についてのQ&A

※ SARS-CoV-2はウイルスの名称、COVID-19は病気（新型コロナウイルス）感染症の名称

新型コロナウイルス対策にアルコール消毒薬が有効であると知られていますが、アルコール消毒薬不足により、代用品が求められているため、ウイルス研究・感染症の専門家（特にノロウイルスに精通されていることで著名）である愛知医科大学医学部 客員教授、元 国立感染症研究所 感染症情報センター（現感染症疫学センター）第六室 室長の西尾 治先生に新型コロナウイルス対策における微酸性電解水の有用性についてお教えいただきました。



国立感染症研究所提供

Q 微酸性電解水とはどのようなものですか？

- ・ 水に食塩または塩酸を添加し、電気分解で生成されます。
- ・ 殺菌活性が高い次亜塩素酸の比率が高いため、有効塩素濃度が10～30ppm程度で十分な微生物殺菌効果を発揮します。
- ・ 低塩素濃度のため、塩素の刺激臭や金属腐食性も少なく使用しやすい殺菌料です。
- ・ 食品添加物に指定されているので安心して使用できます。
- ・ 微酸性電解水の使用方法は、“かけ流し”で常に殺菌力を持った状態で使用します。
(汚れなど有機物が存在すると殺菌効力が低下します)

Q 新型コロナウイルスあるいはコロナウイルスに対する微酸性電解水の効果の試験データはありますか？

新型コロナウイルスは昨年末に出現したウイルスであり、まだ微酸性電解水に対する効果のデータはないようです。ヒトに日常的に感染するコロナウイルスは4種類あり、さらに動物のコロナウイルスも存在します。これらを代替として用いることが望まれますが、まだ検討されていないようです。SARS、MERSのコロナウイルスは病原性が強いので、規制が厳しく、通常の機関では扱い・検証が困難です。

Q 試験データがない場合、新型コロナウイルスに対する効果の判断材料になり得るウイルスや細菌と、それに対するデータはありますか？

コロナウイルスはインフルエンザウイルスと同様にエンベロープを有する構造をもっています。微酸性電解水はインフルエンザウイルスを短時間で不活化されることが知られています。このことから**微酸性電解水は新型コロナウイルスを有効に不活化できると推定されます。**

参考

エンベロープを持たないウイルスであるノロウイルス類似のネコカリシウイルス、マウスノロウイルス、細菌では抵抗性の強いカンジタ、セレウス等の成績も有力な判断材料となります。これらに対して、微酸性電解水はほとんどのウイルスを1分以内に芽胞菌（セレウスなど）でも5分以内に不活化（※）できます。

※有機障害物質のないin vitro試験での効果確認

Q 厚生労働省のホームページにあるQ&Aでは「手などの皮膚の消毒を行う場合には、消毒用アルコール（70%）を、物の表面の消毒には次亜塩素酸ナトリウム（0.1%）が有効であることが分かっています。」とありますが、微酸性電解水は新型コロナウイルス対策として用いることができますか？「指定感染症」に指定されましたが、汚染された場所の消毒には用いることができますか？

微酸性電解水は低塩素濃度のため0.1%次亜塩素酸ナトリウム（1,000ppm）ほどの効果は有しませんので汚染が明らかなどころでの使用には不向きです。

Q 微酸性電解水を新型コロナウイルス対策として使用する場合は、どのように使ったらよいですか？

『大量調理施設衛生管理マニュアル』では以前にノロウイルスの殺菌において、次亜塩素酸ナトリウムのみが用いられると決められていましたが、塩素系消毒剤でも同等の効果を有する薬剤は使用可能とされたことにより、消毒用アルコールや次亜塩素酸ナトリウムの代用として予防的に用いることができると判断できます。少量では効きにくいので十分な水量でジャバジャバかけ流すように使うのがより効果的です。

日常環境の使用例

- ・手洗いのすすぎ水として用いることができます。
- ・ドアノブ、エレベーターやオートロック照明のスイッチ等、テーブル、椅子、電話機、パソコンのキーボード、コピー機など、トイレ回りの蛇口、流水レバー、便器のフタ等々を、ペーパータオル等に微酸性電解水を十分に含ませて拭きます。
なお、微酸性電解水による清掃・洗浄に際して、汚れの見られた時には汚れを取り除いてから用います。
- ・次亜塩素酸ナトリウムは刺激臭が強いので、霧化器による室内散布は難しいですが、微酸性電解水は刺激臭が少ないので行うことができます（次亜塩素酸対応霧化器を使用し、密閉空間での使用は控えてください）。

トイレの清掃・除菌すべき箇所



人の手がよく触れる箇所

